

さかい文化芸術発信事業

【目的】

本市が歴史文化を活用したまちづくりを進めていることをふまえ、地域に根ざした堺固有の文化芸術資源を活用し、都市魅力を国内外に発信することにより、文化芸術と観光の振興等に努める。なお、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の文化プログラムを見据えた事業展開を行う。

【平成29年度 事業計画】

本市は明治期に興った竹工芸の大家を擁しており、竹工芸は日本の伝統的な芸術文化として海外でも注目されていることから、平成29年度は竹工芸作品の特別展覧会を開催する。

○名称

特別展「堺のバンブーアート ―伝統の技、革新の表現―」（仮称）

○展示概要

堺市は、前田家と田辺家という2つの竹工芸の大家を擁している。前田家は、竹工芸の分野を現代美術工芸として確立し、国際的な地位に押し上げた。また、田辺家は、透かし編みなどの表現技術を駆使し、格調の高さと品位を示す作品を編み上げている。現在は田辺小竹氏が、伝統的な花籃のみならず、インスタレーション作品の制作などを精力的に行い、国際的な竹工芸作家として活躍している。

それぞれの作家が、伝統に根ざしながら新しい表現の可能性を追求した作品を生み出している。本展では、本市が所蔵する、初代前田竹房斎や人間国宝に認定された二代前田竹房斎、初代から三代に至る田辺竹雲斎、および二代田辺竹雲斎に師事した谷岡茂男氏の竹工芸作品を展示する。また、田辺小竹氏より、田辺家の作品を借用し、展示する。

○会期

平成29年12月下旬～平成30年2月上旬

○開催場所

さかい利晶の杜 2階企画展示室

○開館時間

午前9時から午後6時まで（入館は午後5時30分まで）

○主催・共催】

主催：堺市

共催：さかい利晶の杜

○展示作品について

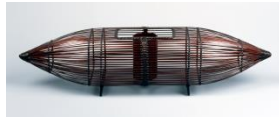
所蔵作品等から約 30 点の作品で展示を構成する。

展示作品の例

初代田辺竹雲斎
《柳里恭式釣花籃》



二代田辺竹雲斎
《池畔花籃》



三代田辺竹雲斎
《元宵花籃》



初代前田竹房斎
《臈当式耳付花籃》



二代前田竹房斎
《鳳尾竹壺花籃》 《花籃 球》



谷岡茂男
《夢想花籃》



【事業展開イメージ】

年度	事業内容（予定）	関連するイベント等
平成 29 年度 (2017)	竹工芸展覧会	百舌鳥・古市古墳群 世界遺産登録予定
平成 30 年度 (2018)	日本画（島成園など）、古典芸能（文楽など）、 伝統工芸（鍛冶など）等、堺固有の文化資源の	スポーツ・文化・ワールド・ フォーラム（京都、東京）
平成 31 年度 (2019)	中から検討中	ラグビーワールドカップ ICOM（国際博物館会議） KYOTO 2019
平成 32 年度 (2020)	竹工芸展覧会	東京オリンピック・ パラリンピック